

DG-10 マレーシア デジタルガバナメント戦略 10月

1.背景

マレーシアは、1966年から国の開発計画として5年毎のマレーシア計画(Malaysia Plan)を導入している。1991年にはマハティール首相が2020年までに先進国入りを目指す30年間の「Vision 2020」を第6次マレーシア計画として発表した。第7次、8次と首相を勤めた後、「Vision 2020」実現を目指す最後の第11次(2016-2020)の半ば、2018年5月9日に再び首相となった。訪中先の北京で19日、同地在住のマレーシア人主催の歓迎晩餐会で「2020年までに、マレーシアをが先進国入りすることは難しく、たぶん2025年に延びるだろう」と述べた。

2.ビジョン

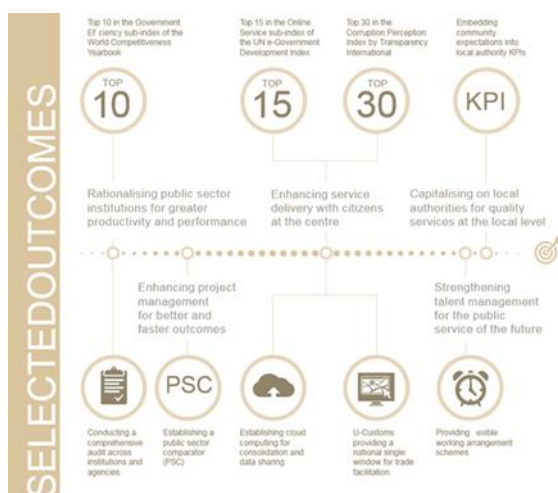


図1 ビジョン

先進国入りのビジョンを達成するための戦略目的値は

1.政府の効率性

政府の効率性を示す国際経営開発研究所 [IMD 世界競争力年鑑](#)の Top 10 以内に入ること。

2017 年は [23 位](#)

2.行政サービスの市民中心性

1) [国連電子政府ランキング \(UN E-Government Survey\)](#) の Top15 以内に入ること。

2018 年は [48 位](#)

2) [Transparency International](#) の [CORRUPTION PERCEPTIONS INDEX \(腐敗認識指数\)](#) の Top30 以内に入ること。

2017 年は [62 位](#)

このプロジェクトは [マレーシア行政近代化・経営計画ユニット \(MAMPU\)](#) がこのプロジェクトを担当する。[MAMPU](#) は認定されたサービス提供基準の採用して、効果的かつ効率的な行政サービスの提供を保証する。これらの基準のコンプライアンスは各政府機関の認定された委員が自己評価プロセスを通じて監視する。加えて、MAMPU は、政府の行政サービス提供の近代化戦略アドバイザーも担当する。そして、この目的を達成するために5つの戦略目的を掲げている。

- 戦略目的 A:中心市民とのサービス提供の強化する
- 戦略目的 B:公共機関を合理化して生産性とパフォーマンスを向上させる
- 戦略目的 C:未来の公共サービスのために才能管理を強化する
- 戦略目的 D:より良く、より迅速なプロジェクト管理の強化をする
- 戦略目的 E:地域レベルで質の高い行政サービスを提供するために地方自治体を活用する

3.7 つの原則

市民中心、データ中心、信頼性と安全性、ICTコンプライアンス、グリーンICT、デジタルイノベーション、オープンソースソフト優先

Government Transformation Programme (GTP) 2011

4.戦略

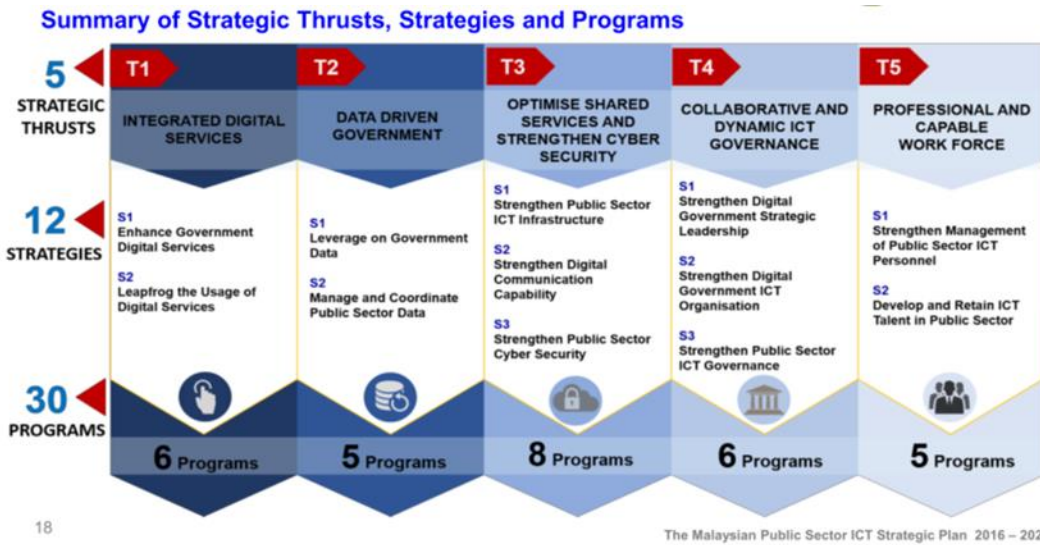


図 2 デジタルガバナメント戦略体系

デジタルガバナメント戦略は図 2 に示すように 5 の戦略目的、12 の戦略目標、30 の実施プログラムで以下のように構成されている。

1) 戦略目的 統合デジタルサービス

- 目的 1) 高品質でエンドツーエンドのデジタルサービスを提供する
- 2) 包括的かつ市民中心のデジタルサービスを提供する

戦略目標 S1: 政府のデジタルサービスを強化する

プログラム P1

ライフイベントに対応したワンストップ・デジタルサービスゲートウェイを単一エントリーポイントとして強化する

プログラム P2

デジタルサービスへのアクセスを強化する

戦略目標 S2: デジタルサービスの利用を飛躍させる

プログラム P1

市民中心の豊富なデザインを組み込んだ政府のデジタルサービスを強化する

プログラム P2

市民の関与と参加を強化する

プログラム P3

デジタルサービスの利用を説得し、支援する

プログラム P4

キャッシュレス政府デジタル・サービスを増やす

2) 戦略目的 T2 データ駆動型政府

目的 1) 包括的で効率的な方法でデータの価値を管理し、実現する

2) 全政府機関を横断するデータ・シェアを強化する

戦略目標 S1: 政府データをテコに使う

プログラム P1

公共部門のオープンデータ主導の実施を加速する

プログラム P2

公共部門のビッグデータ体制の実施を加速する

プログラム P3

データ解析による政府のデジタルサービス提供の改革を実施する

戦略目標 S2: 公共部門のデータの管理と調整を行う

プログラム P1

公共部門のデータを管理するためのデータガバナンスを確立する

プログラム P2

データの共有と管理のためのデータハブを開発する

3) 戦略目的 T3 シェアサービスの最適化とサイバーセキュリティの強化

目的 1) 集中化し、構造して ICT リソースのシェアを拡大する

戦略目標 S1: 公共部門の ICT インフラを強化する

プログラム P1

公共部門データセンター(PDSA)を強化する

プログラム P2

政府のクラウドサービスを強化する

戦略目標 S2: デジタル通信機能を強化する

プログラム P1

1Gov*Net ネットワークサービスのアップグレードと拡張を行う

プログラム P2

政府機関のネットワークを調整し、強化する

プログラム P3

政府の統合通信サービスを強化し、拡大する

戦略目標 S3 公共部門のサイバーセキュリティを強化する

プログラム P1

サイバーセキュリティサービスを強化する

プログラム P2

[公共部門のセキュリティ・ガイドライン](#)を遵守する

プログラム P3

[サイバーセキュリティ環境](#)を強化する

4)戦略目的 T4 協同的でダイナミックな [ICT ガバナンス](#)

目的 1) デジタル主導の計画と調整のためのリーダーシップとガバナンスを強化する

2) よりダイナミックで効率的な ICT の管理と組織の機能を強化する

戦略目標 S1: デジタルガバナメントの戦略的リーダーシップを強化する

プログラム P1

デジタルガバナメント・リーダーシップ機関を強化する

プログラム P2

[戦略的協同ネットワーク\(JKSSA\)](#)を強化する

戦略目標 S2: デジタルガバナメント ICT 組織を強化する

プログラム P1

公共部門におけるデジタルサービスを主導する [MAMPU](#) を強化する

プログラム P2

政府機関の ICT サービスの構造と機能の合理化する

戦略目標 S3: 公共部門の ICT ガバナンスを強化する

プログラム P1

公共部門の ICT ガバナンス体制を合理化する

プログラム P2

公共部門の ICT 政策とガイドラインを強化する

5)戦略目的 T5 プロフェッショナルで能力のある人材

目的 1) 公共部門の ICT 職員の能力を強化する

戦略目標 S1: 公共部門の ICT 人事管理を強化する

プログラム P1

ICT 人材配置プロセスを強化する

プログラム P2

ICT [ジョブプロフィール](#) 管理を強化する

戦略目標 S2: 公共部門の ICT 才能を開発し、維持する

プログラム P1

公共部門の [ICT 経歴開発計画](#) を強化する

プログラム P2

[公共部門 ICT コンピテンシープログラム](#) を強化する

プログラム P3

公共部門の ICT 専門家とプロフェッショナリズムを強化する

5. [実施計画](#) 省略